

ミチノクフクジュソウの種を蒔いて発芽を観察しよう！



・種を蒔いてみると

ミチノクフクジュソウの種を蒔いて発芽を観察した。左の写真は播種の翌年の春である。地中から葉柄(胚軸に見えるが葉柄が2本合体している)を弓形に曲げて出てくる。後方にはすでに2枚の子葉を開いた個体がある。よく芽が出て、発芽率は非常に良いようである。

右の写真は子葉が出た年の翌年である。茎は地表に出さず、地中であって2回3出複葉だけを地表に出す。この葉も初夏には枯れてしまう。開花するまで調べていないが、数年はかかると思われる。